

令和7年度玉城町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

玉城町においては、麦の団地化やブロックローテーションが定着してきているが、まだ稲作への依存度も高く生産意欲も高い。また、水稻との複合経営で地域振興作物とし高収益作物への取り組みや、若手新規就農者のイチゴ栽培への参入も進んでいる。

現状、農家の8割程度が第2種兼業農家であり、農業従事者の高齢化や農業機械施設の更新を期に廃業し、担い手への集積が進みつつあるが、近年の農業資材、農業機械の価格高騰により、担い手による規模拡大も困難な状況にある。今後、兼業農家のリタイアが急速に進むことが予想される中、当町の水田農業を維持していくためには、新たな担い手の確保・育成を進める必要があるが、土地利用型においては、初期投資が大きいと、新規就農者は見込めないのが大きな課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

玉城町においては、産地強化計画に沿いイチゴ、キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリー、とうもろこし、サツマイモの振興が進められ、担い手の所得向上への取り組みを含め栽培面積も拡大している。

これらの高収益作物について、今後は、農地の有効利用のため、小麦あとの二毛作を推進し、産地化を目指していく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田農業の担い手等を対象に、産地強化計画の品目である露地野菜の作付けを推進し、一定の成果はあるものの、価格が安定しないことや水稻等との作業時期の重複で十分な栽培管理ができず収量が安定しないことなどから、安定継続的に栽培されるまでには至っておらず、直ちに畑地化を進めることは困難である。

今後の町内農業の維持には水稻偏重の作付体系を見直していく必要があることから、作付状況の現地確認等の機会を捉えて畑地化を検討できるほ場を確認し、高収益作物の作付けが固定化している水田について、畑地化の取り組みを働きかけていく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

米の需給に見合った計画的生産を継続推進するとともに、近年の品質低下対策として、高温に強い品種及び耐倒伏性品種の導入を関係機関と早急に検討し、対応していく。

(2) 備蓄米

加工用米とともに関係機関と連携を図り、生産の推進を検討していく

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

担い手農家中心に、作期分散及び経営安定のため多収品種による取組みを継続する。また、町内の畜産農家への供給と耕畜連携のわら利用を活用し、担い手農家の所得確保に努めていく。

イ 米粉用米

該当なし

ウ 新市場開拓用米

該当なし

エ WCS 用稲

該当なし

オ 加工用米

該当なし

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦においては、担い手の作期分散と収益確保のため、作業効率の向上及び収量アップに向け、団地化、土壌改良を推進していく。

(5) そば、なたね

該当なし

(6) 地力増進作物

町として、地域振興作物及び高収益作物の拡大に向け露地野菜の連作障害防止に向け、地力増進の作付けを推進していく。

(7) 高収益作物

産地強化計画が策定された品目や生産拡大に取り組んでいる野菜において、新規就農者の確保や二毛作（小麦あと）の取り組み推進も含め、面積拡大に取り組む。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	657.0	0.0	650.0	0	650.0	0.0
備蓄米	0.0		0.0			
飼料用米	44.0	0.0	30.0	0.0	50.0	0.0
米粉用米	0.0		0.0			
新市場開拓用米	0.0		0.0			
WCS用稲	0.0		0.0			
加工用米	0.0		0.0			
麦	164.0	0.0	145.0	0.0	170.0	0.0
大豆	10.0	10.0	10.0	5.0	12.0	6.0
飼料作物	0.0		0.0			
・子実用とうもろこし	0.0		0.0			
そば	0.0		0.0			
なたね	0.0		0.0			
地力増進作物	2.9	0.0	2.0	0.0	2.2	0.0
高収益作物	62.6	10.5	44.5	6.0	51.0	8.5
・野菜	52.9	10.4	43.0	6.0	44.5	8.5
・花き・花木	2.8	0.1	1.5	0.0	1.0	0.0
・果樹	0	0	0	0.0	0.0	0.0
・しめ縄用青刈り稲	6.8	0	5.0	0.0	5.0	0.0
その他	0.0		0.0			
			0.0			
畑地化	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
				（6年度）		（8年度）	
1	野菜	野菜等生産支援助成	作付面積の拡大		711a		1,100a
	花き・花木				141a		100a
	果樹				0a		0a
2	イチゴ	地域振興野菜支援助成 （基幹作）	作付面積の拡大	（6年度）	482a	（8年度）	500a
	サツマイモ				603a		550a
	トウモロコシ				577a		600a
3	キャベツ	産地強化支援助成 （基幹作）	作付面積の拡大	（6年度）	290a	（8年度）	400a
	カボチャ				263a		500a
	青ネギ				138a		200a
	ブロッコリー				539a		100a
3	キャベツ	産地強化支援助成 （二毛作）	作付面積の拡大	（6年度）	0a	（8年度）	50a
	カボチャ				0a		0a
	青ネギ				0a		0a
	ブロッコリー				549a		800a
4	麦（基幹作）	麦団地化助成	作付面積の拡大	（6年度）	6,596a	（8年度）	7,000a
5	大豆（二毛作）	大豆産地化 （規模拡大）助成	作付面積の拡大	（6年度）	540a	（8年度）	600a
6	飼料用米（多収品種）	飼料用米生産性向上助 成	作付面積の拡大	（6年度）	4,867a	（8年度）	5,000a
7	飼料用米	わら利用（耕畜連携） 取組助成	取組面積の拡大	（6年度）	1,047a	（8年度）	1,500a
8	加工用青刈り稲（しめ縄 用）（基幹作）	加工用青刈り稲 （しめ縄用）支援助成	作付面積の拡大	（6年度）	496a	（8年度）	500a
9	小麦	小麦収量増大支援助成 【P H測定＋石灰資材 の散布】	散布面積の拡大	（6年度）	13,645a	（8年度）	15,000a
			実施率の上昇		84%		88%
			単収の改善		184kg/10a		330kg/10a
10	小麦	小麦収量増大支援助成 【堆肥散布の実施】	散布面積の拡大	（6年度）	13,194a	（8年度）	14,000a
			実施率の上昇		84%		82%
			単収の改善		184kg/10a		330kg/10a
11	ヘアリーベッチ	地力増進作物取組助成	作付面積の拡大	（6年度）	163a	（8年度）	120a
	ソルガム				106a		50a
	えん麦たちいぶき				27a		50a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:三重県

協議会名:玉城町農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	野菜等生産支援助成(基幹作)	1	3,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
2	地域振興野菜支援助成(基幹作)	1	10,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
3	産地強化支援助成(基幹作、二毛作)	1,2	10,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
4	麦団地化助成	1	4,000	麦	2ha以上の団地化に対する支援
5	大豆産地化(規模拡大)助成	2	7,000	大豆	麦あとへの作付に対する支援
6	飼料用米生産性向上対策助成	1	5,000	飼料用米	多収品種の導入への支援(夢あおば、やまだわら)
7	わら利用(耕畜連携)取組助成	3	9,000	飼料用米	飼料用米契約生産者への支援
8	加工用青刈り稲(しめ縄用)支援助成	1	8,000	青刈り稲	作付面積に応じて支援
9	小麦収量増大支援助成 【PH測定+石灰資材の散布】	1	2,000	麦	PH測定、石灰資材散布面積に対する支援
10	小麦収量増大支援助成 【堆肥散布の実施】	1	2,000	麦	堆肥散布実施面積に対する支援
11	地力増進作物取組助成	1	20,000	ヘアリーベッチ、ソルガム、えん麦たちいぶき	高収益作物の作付けに向け、地力増進作物の作付けを行い、鋤き込みを行う

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。